



町田市民病院

Vol.2

〒194-0023

住所 町田市旭町2-15-41

Tel 042-722-2230

発行年月日 2022年2月

発行 町田市民病院地域医療連携室

れんけい通信

町田市民病院



コロナ感染症拡大に伴う当院の対応について



当院では、2021年11月から予定入院の患者様を対象に新型コロナウイルスのPCR検査を実施しております。ご入院されている患者様、これから入院される患者様を、感染から守るための対策として行っています。

また、当院はコロナウイルス感染症入院重点医療機関の指定を受けており、オミクロン株の感染急拡大に伴う東京都からの要請により、2022年2月からコロナ患者様の専用病床を増床しております。

オミクロン株収束の目途も立たず、不安な状況が続きますが、地域医療を支えるため、スタッフ一同、コロナ感染症の診療と二次救急医療の両立に努めてまいります。



院内研修の報告について

当院の緩和ケア病棟の様子や入院までの手続きについてスライドでご紹介し、その後「みその生活支援クリニック」小野沢先生にご講演いただきました。在宅医療のコロナ禍での現状を丁寧に解説いただくとともに、在宅医療において独居や身寄りのない方の「希望」に寄り添っていくことの大切さについて、教えていただきました。コロナ禍では在宅医療を希望される方もより多くなっていますが、患者様により良い医療環境を提供できるよう努めていきたいと思っています。

(参加人数 120名)

2021年度 町田市民病院 緩和ケア病棟地域研修会

日時 令和3年 10月28日(木) 18:00~19:30

場所 町田市民病院オンライン実施(Webex)

対象 病院職員および地域関係者

みその生活支援クリニック
講師 院長 小野沢 滋 先生
テーマ コロナ禍における在宅医療と緩和ケア病棟の連携について

2021年度 町田市民病院虐待防止講演会 医療機関等に求められる 高齢者虐待防止の取組

日時 2021年11月25日(木)
18:00~19:30

講師 川崎 裕彰 氏
かわさき社会福祉事務所 所長
社会福祉士・精神保健福祉士

形式 会場・Webのハイブリッド開催
※申込時に参加形式をお選びください。

【会場】町田市民病院 南棟3階講義室 定員30名 申込のみ
【Web】Cisco Webex Meetings

本講演会は、会場参加の医師の方へ日本専門医機構「専門医共通講習受講証明書」の発行ができます。
Web参加の方には発行できません。

対象 医療関係者、行政関係者、介護関係者

高齢者虐待法、身体拘束、介護者に対する支援について「かわさき社会福祉事務所」川崎先生にご講演をいただきました。アンケートでは、「日常行っている看護、介護の中で身体拘束の必要性有無の評価が重要である」「利用者や患者と接した時に違和感に気付く大切さを学んだ」など日々の業務を振り返るきっかけに繋がったようです。院内では、後日講演会動画を135名の職員が視聴しました。今後も医療機関・介護機関・行政等が連携をして、虐待防止に取り組んでいきたいと思っております。

(参加人数 277名 ※後日配信動画による参加含む)

コロナ禍における在宅医療の現状や課題を、在宅医の立場から「在宅療養支援クリニックかえでの風」宮木先生にご講演いただき、その後当院櫻本副院長、外科脇山医師と座談会を行いました。コロナ禍において患者や家族の孤独感が高まったこと、オンラインツールが活用されるきっかけになったことなどの講話がありました。高齢者が活用しやすいオンラインツールについても考える機会となりました。意思決定支援については「何度も何度も一緒に悩むこと」の大切さについて共有できました。

(参加人数 80名)

第1回 町田市民病院 退院支援委員会 研修のお知らせ コロナ禍における病院と 地域との連携(オンラインWebex)

■日時: 2022年1月27日(木) 18:00-19:00

■演者: 在宅療養支援クリニックかえでの風 理事長 宮木大先生
町田市民病院 脇山茂樹 副院長(兼) 外化学療法センター長
櫻本千恵子 副院長

■対象: 退院支援に関心のある医療従事者(事前申し込み制)



町田市民病院
脇山茂樹 副院長(兼)
外化学療法センター長



町田市民病院
櫻本千恵子 副院長



町田市民病院
櫻本千恵子 副院長

コロナ禍で見た地域連携の大切さ。在宅療養を選択されたご家族の思いと現状、入院中の家族の思い・・・それらを踏まえた病院と地域との連携についてワークショップを行います。ぜひご参加ください。

入退院支援センターでの持参薬確認について



薬剤科では、2021年12月から全診療科の入院患者様を対象に、入院当日の持参薬確認業務、手術前の休薬確認に関する最終チェックを行うための入院前面談を開始しています。

現在は、入退院支援センター内の一部を薬剤師ブースとし、交代制の3名常駐で業務を行っています。

入院前面談は、入院決定後の手続き時に行います。基礎疾患や薬剤アレルギー、副作用歴、持参薬状況などを確認し、休薬対象薬の見落としがないよう努めています。分包から休薬対象薬を抜く再調剤依頼書や、入院までに常用薬の変更、追加があった場合に当院へご一報いただくためのお薬手帳シール、専用用紙の発行も行っています。このようなシール、用紙の提示があった場合に、使用している薬剤の変更がありましたら、積極的にお知らせください。休薬対象薬が面談後に処方された場合のセーフティネットとしています。



面談時に常用薬の把握ができないことがあり、患者様からの聞き取りが困難な場合は、服用薬の確認のためにかかりつけのご施設へご連絡することがございます。その際は、お忙しいとは思いますがご対応のほどよろしくお願い致します。

小児病床の移転・編成変更について

新型コロナ病床確保のため、2021年10月に南5階病棟を小児専用病床といたしました。個室2床、4人床2部屋、3人床1部屋の計13床となっております。

小児科・小児外科・整形外科・歯科口腔外科・脳神経外科・形成外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科などのお子さんの入院加療を行っております。診療内容も移転前と変わりはありません。

院内診療科、医師会小児科部会、休日・準夜急患こどもクリニック、近隣医療機関と情報共有、連携を行いながら診療をしております。

小児科外来につきましては、事前予約だけでなく受診日当日でも地域予約を承っております（受付時間は平日の9時から17時までとなります）。ぜひご活用下さるようお願いいたします。

町田市内唯一の小児入院病床ですので、ぜひご紹介ください。



地域医療連携の状況について

連携医療機関数	593件	2021年12月末現在
当院からの紹介件数（逆紹介）	1,175件	2021年12月実績
当院への紹介件数	1,414件	
救急車搬送件数	392件	
紹介率	80.7%	
逆紹介率	67.1%	

< 編集後記 >

リモートワーク、飲食店の営業制限に伴う行動制限などにより、「巣ごもり生活」を強いられている方も多いと思いますが、みなさんどのようにストレス発散していますか？

私は、寒さにも負けずひたすら自転車に乗り続けています。おススメは境川沿いのサイクリングロード。先日は大雪の影響で道がカチコチに凍っていましたが（右の写真）、それでも頑張って漕ぎ続けていました（笑）。みなさんもぜひコンディションのいい日に（！）お試しください（T）。

